

令和7年度 学校目標とその具現化に向けて

八戸市立根岸小学校

1 本校児童に身に付けさせたい資質・能力

知 「聴く力」「言葉で表現する力」「主体的な粘り強さ」
徳 「相手意識」(挨拶・返事・言葉遣い)「規範意識」
体 「たくましい体づくり」「健康意識(病気・けが)」

2 学校目標

『アウトプットする力を伸ばし 互いに認め励まし合える児童の育成』
(output)

根岸戦隊 かわるんジャー ON! (児童の目標)

教育目標「かしこく やさしく たくましく」の具現化に向けて

様々な教育活動の中で、「主体的に活動したり」「自ら挑戦したり」「根気強く取り組んだり」することを通して、アウトプットする力を伸ばし、その力を互いに認め励まし合える意図的な**しかけ(めあてのもたせ方)(場の設定)(振り返らせ方)**を工夫することで、児童一人一人に成就感を味わわせ、**自尊感情・自己有用感・よりよい他者意識**を育てていく。

教 職 員

◇アウトプットする力を伸ばす⇒児童一人一人の思いや考えを、他者を意識した

言葉や行動、制作物など具体的な形にして表現
させるための

しかけ(めあてのもたせ方)(場の設定)(振り返らせ方)

◇互いに認め励まし合える児童⇒児童一人一人のアウトプットを共感的に捉える
させるための

しかけ(場の設定)(振り返らせ方)

児 童

◇根岸戦隊⇒自分の弱い心(「無理」「めんどくさい」「恥ずかしい」「あきらめ」と、友だちと互いに認め合い励まし合いながら戦い

◇かわるんジャーON!⇒自分が「がんばってみる」「挑戦してみる」ことだけでなく、思いやりをもってなかよくしようという他者を意識したアウトプット力も伸ばす。

思いや考えを言葉や行動、制作物など具体的な形に

保護者・地域との共有(共育)

〔重点施策〕

①「めあてをもって学ぶ子」の具現化に向けて

○授業の充実

- ・校内研究の日常化による指導の工夫
- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着、学習に向かう力(主体的な粘り強さ)の育成

②「相手のことを思いやる子」の具現化に向けて

○特別活動の充実

- ・子供の命を最優先とした、居場所づくり・絆づくりを意識した指導の工夫
- ・日常生活における、相手を意識した道徳的実践力の向上
- ・規範意識を高め、正しい善悪の判断のもとで行動する指導の充実

③「じょうぶな体をつくる子」の具現化に向けて

○体育的活動の充実

- ・たくましく育つための体づくりの推進
- ・健康的な生活を送るための意識の向上

〔評価基準〕

教師の自己評価(4段階)で、「あてはまる・概ねあてはまる」と肯定的に回答した教師の割合が80%以上をA評価とする。60%未満をC評価とする。その際、児童の自己評価・保護者・地域関係者からのアンケート(4段階)を加味にする。「よい・概ねよい」の評価を合わせて80%以上をA評価とする。60%未満をC評価とする。

3 取組の具体内容・指導の場・重要ポイント

①「めあてをもって学ぶ子」の具現化に向けて

○授業の充実

- ・校内研究の日常化による指導の工夫
- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着、学習に向かう力（主体的な粘り強さ）の育成

「自分のこととして課題解決する子の育成」をめざし、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現する指導を行う中で、アウトプットする力を伸ばし、その力を互いに認め励まし合える意図的なしなかけを工夫することで、児童一人一人に成就感を味わわせ、自尊感情・自己有用感・よりよい他者意識を育てていく。

例

自分の思いや考えを
わかるように話す・伝える相手の思いや考えに
反応する自分の思いや考えを文字など
多様な方法で表現する

互いに認め励まし合える意図的なしなかけ⇒次のアウトプットへのエネルギーに！

②「相手のことを思いやる子」の基盤づくり

○特別活動の充実

- ・子供の命を最優先とした、居場所づくり・絆づくりを意識した指導の工夫
- ・日常生活における、相手を意識した道徳的実践力の向上
- ・規範意識を高め、正しい善悪の判断のもとで行動する指導の充実

みんなのためにという視点で自分たちで考えて、「学級活動」「児童会活動」「行事」を主体的に実践させる中で、アウトプットする力を伸ばし、その力を互いに認め励まし合える意図的なしなかけを工夫することで、児童一人一人に成就感を味わわせ、自尊感情・自己有用感・よりよい他者意識を育てていく。

例

互いに気持ちよい関係を
創る(挨拶・返事・声かけ)こうしたらよいと
思ったことを行動に移す共感的に思いや考えを
伝え合い合意を形成する

互いに認め励まし合える意図的なしなかけ⇒次のアウトプットへのエネルギーに！

③「じょうぶな体をつくる子」の基盤づくり

○体育的活動の充実

- ・たくましく育つための体づくりの推進
- ・健康的な生活を送るための意識の向上

「朝の活動【かわるんジャータイム（運動）】」「教科体育」において、一人一人のめあてを明確にして多様な運動に取り組ませる中で、アウトプットする力を伸ばし、その力を互いに認め励まし合える意図的なしなかけを工夫することで、児童一人一人に成就感を味わわせ、自尊感情・自己有用感・よりよい他者意識を育てていく。

例

自分に合った
ちょっと上のめあてを立てるめあてに向かって
積極的に根気強く体を動かす互いの頑張りを
応援し合う

互いに認め励まし合える意図的なしなかけ⇒次のアウトプットへのエネルギーに！

outputすることで、

- 自分の思いや考えの正しさ・間違いに気づき、よりよい振り返りにつながる
- 互いの思いや考えがわかり、自尊感情・自己有用感・よりよい他者意識につながる

アウトプットする力を伸ばせばインプットする力も伸びる！